

灌漑セクターローン（フェーズ2）【イラク】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和6年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	イラク共和国
(2) 案件名	灌漑セクターローン（フェーズ2）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	主にチグリス・ユーフラテス川流域において、灌漑・排水設備及び農地の整備・復旧を実施することにより、農業生産量の増加を図り、もってイラクの経済・社会復興に寄与するものである。 案件の内容 ・土木工事、資機材調達 ・コンサルティング・サービス ア閣議決定日：平成30年4月3日 イ供与限度額：154.65億円 ウ金利：円LIBOR+15bp%（下限金利は年0.1%、コンサルティング・サービスについては0.01%） エ償還（据置）期間：25年（7年） オ調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業計画当初、GDPの半分近くを石油セクターが占める一方で、同セクターの労働人口は全労働人口の2%程度に過ぎない状況であった。若年層の失業率が18%に達し（UNDP Iraq 2018）、失業問題が深刻化しているイラクにおいて、農業以外他に就労の機会に乏しい地方部では、全就業者の約2割が従事する農業セクターが有望な雇用吸収先として期待されていた。しかし、農業生産基盤の老朽化、灌漑農地での塩類集積、農業技術・知識の不足などにより、農業の生産性は低く、また、特にチグリス・ユーフラテス河川下流域にあたるバグダッド以南の地域では、同河川の塩分濃度が高く上昇するなど、水資源の効率的利用へのニーズが高く、灌漑排水施設の整備・改修による配水効率の改善、灌漑農業の拡大が喫緊の課題としてあげられていた。

	2020 年以降、イラクは深刻な水不足に陥っており、チグリス川及びユーフラテス川における流量が現在においても著しく低下している状況にある。このような現状を鑑み、本計画にかかる状況は当時と大きく変わらず、引き続き水資源の効率的な活用のための灌漑設備への投資は急務であることから、本事業に関する社会的ニーズが引き続き認められる。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 コンサルタント契約に先立ちイラク政府内で事業コンポーネントについての承認に時間を要した。また、その後中央銀行の外貨引出し規制によるイラクディナールの為替リスクを懸念する受注候補企業内の調整、及びイラク政府内の承認に時間を要した。 現状イラク政府内の承認プロセス中であり、契約締結に至っておらず、事業の遅延が生じている。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれる。そのため、契約締結に向けてフォローしつつ、本事業を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料